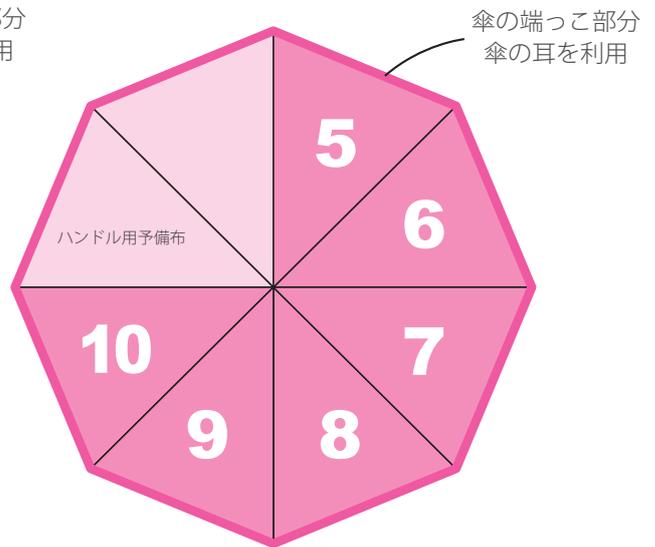
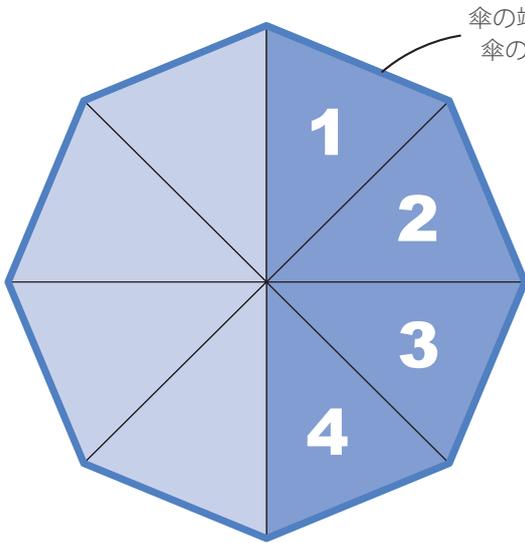


材料

傘布 10枚 (Aから4枚 + Bから6枚) ※傘のサイズによっては、+1枚必要です。

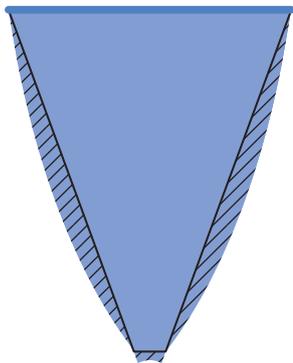
色や柄の異なる傘2枚からそれぞれ三角布を4枚ずつと  
ハンドル用にABどちらかから2枚 合計10枚



※傘の生地はみな大きさが異なるため、仕上がりサイズは使用する布や組み合わせにより毎回変わります。

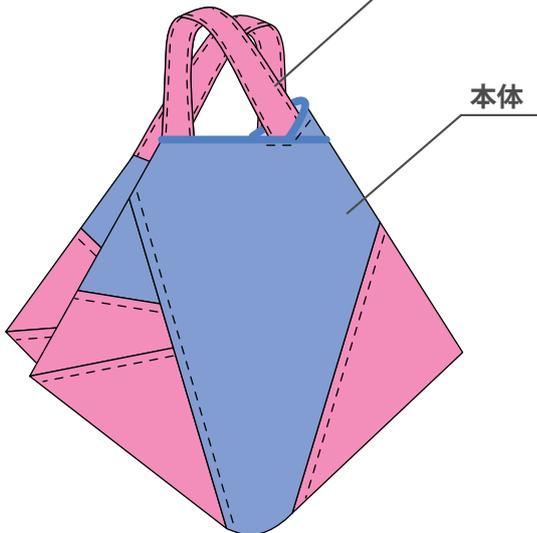
下準備

傘の生地を剥ぐと曲線になっています。  
それが直線になるよう修正するために斜線部カットをし、アイロンがけをします。

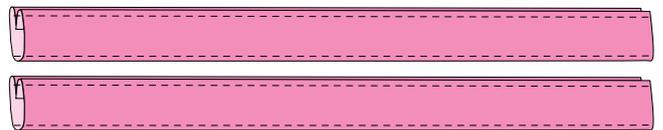


作るパーツ

<完成イメージ図>

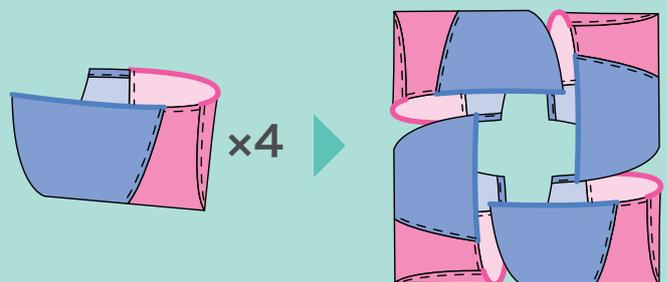


ハンドル2本



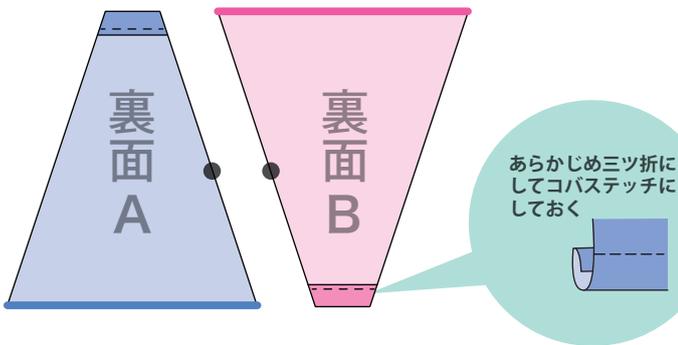
本体

本体は、色柄の異なる傘生地を1枚ずつ組み合わせた1パーツを4個組み合わせて制作します。



# 1 本体生地の縫い方

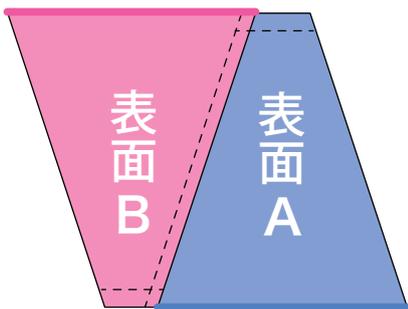
- 1-1 色柄の異なる三角布をそれぞれ1枚ずつ図のように並べ、中表にして●印の線のところを縫い代1cmで縫い合わせる。



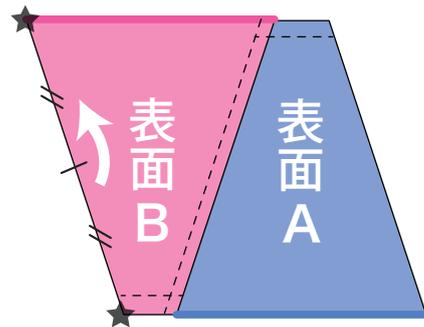
用語：コバステッチ

折り曲げたあと、すぐ内側をステッチをして縫い止めること

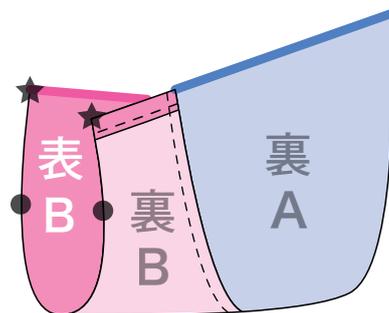
- 1-2 合わせた縫い代をどちらかに倒してアイロンをかけたら、表面からステッチでおさえる。



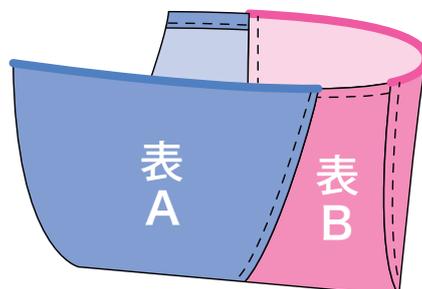
- 1-3 左端を★を合わせるようにして半分に折る。



- 1-4 ●印の線のところを縫い代1cmで縫い合わせる。縫い代をどちらかに倒してアイロンをかけたら、表に返して、表面からステッチでおさえる。



- 1-5 1~4の手順を繰り返し、同じパーツを4個作る。

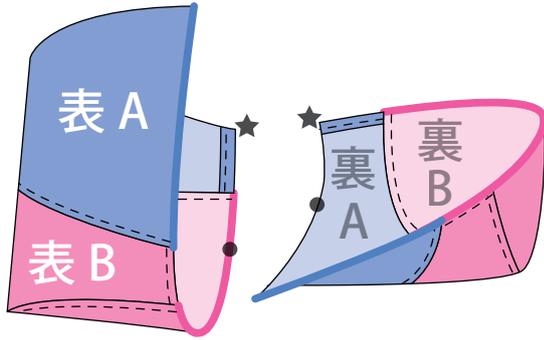


## 2 各パーツをつなげる

### 2-1

①-5で出来上がったパーツを2個なげる。

★を合わせて縫い始め、●印の線のところを縫い代1cmで縫い合わせる。



<パーツ1>

<パーツ2>

強度をつけるために、縫い代を<パーツ2>側に片倒しにしてステッチをかける。

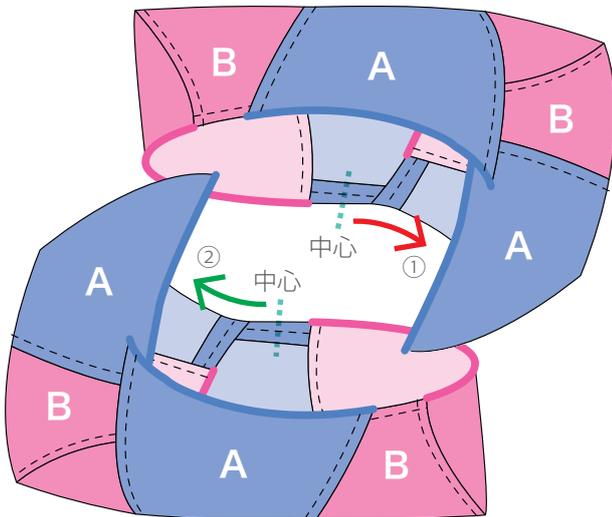


残りの2個も同じようにつなげる。

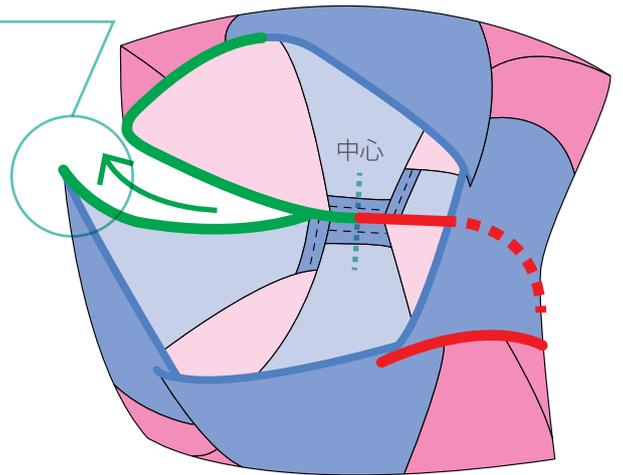
### 2-2

②-1で仕上がった2パーツを下図のように中心部を合わせ、中表にし、縫い代1cmで縫い合わせる。

中心からパーツの端に向かって、①方向と②方向を交互に縫う。



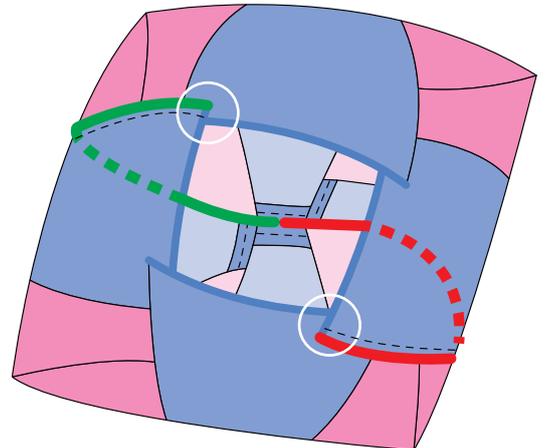
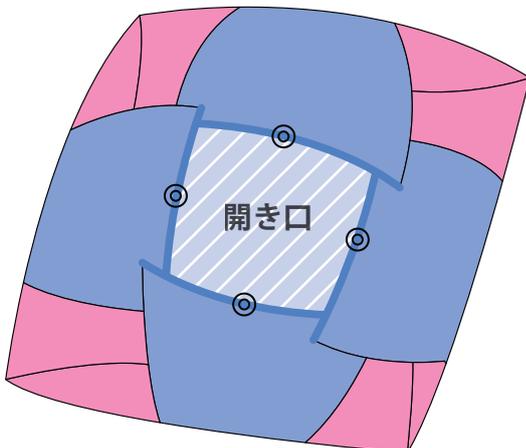
パーツの端まで縫って縫い止まり



### 2-3

下図のような形に仕上がったら、補強のためにステッチをかける。

白線で丸く囲った、重なりが上の部分側に縫い代を倒してステッチをかける。



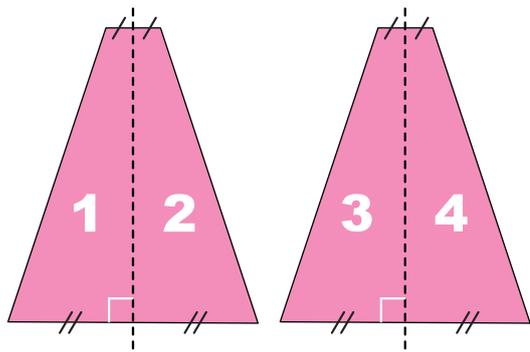
◎部ほぼ同じ長さになり、図の斜線部が開き口となる。

※ステッチを掛ける際に縫い代を倒す方向は、中心部分で切り替える

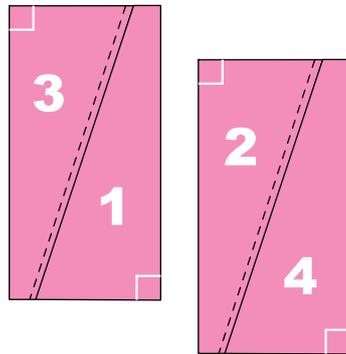
### 3 ハンドルの作り方

#### (1) 長方形の生地をつくる

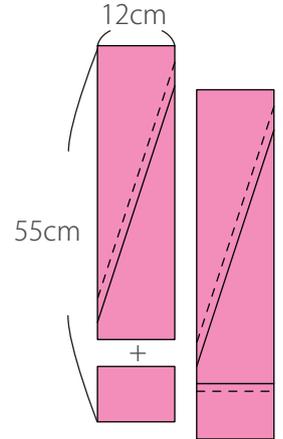
2枚の三角布を中心でカットする。



図のように奇数同士、偶数同士でつなぎ合わせる



それぞれ図の大きさにになるよう裁断する。



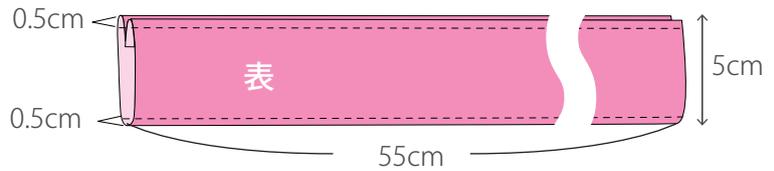
※一枚で55cmの長さにならないときは、予備布を使って付け足す。

#### (2) ハンドルを作る

中表にして縫い代1cmで縫い合わせる。



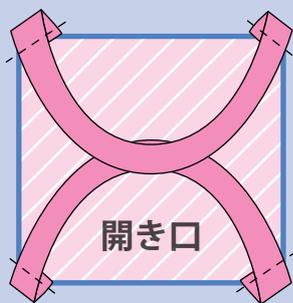
表に返して左右を幅0.5cm縫う。  
巾5cmの帯を2本作る。



#### 4 本体にハンドルを取り付ける

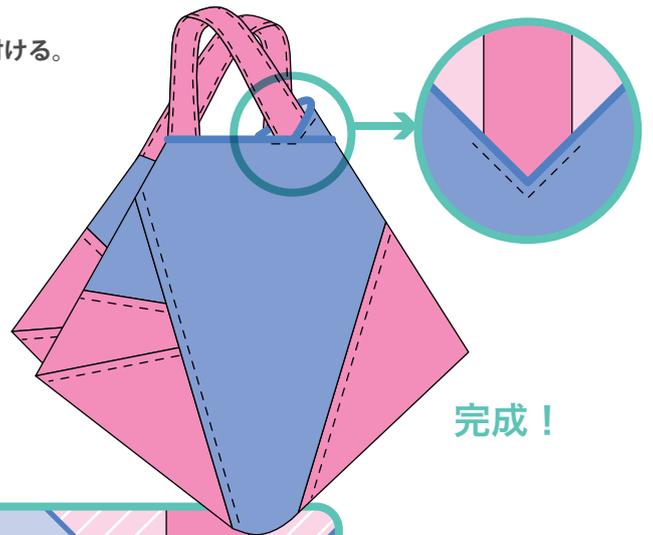
本体を裏返し、開き口の4つ角に下図のようにハンドルの端を縫い付ける。

〈本体裏から見た図〉



開き口

③ 最後に、袋を表に戻してステッチをかける



完成!

①

開き口

2cm

開き口から2cmの所を縫う

②

開き口

2cm

倒して開き口の所を縫う